

2008春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 22

2008年 2月26日

日本鉄道労働組合連合会

JRグループ労組連絡会08春闘総決起集会

7,000円中心要求を確認！2/29一斉要求！

JRグループ労働者にふさわしい賃金体系の実現へ

JRグループ労組連絡会は、2月22日、京都弥生会館において、「JR連合グループ労組連絡会08春闘総決起集会」を開催した。会場には東海、西、四国、九州の各グループ単組、JR連合・エリア連合から総勢150名が集う中、大いに盛り上がった。

冒頭、谷幹事（関西新幹線サービック労組執行委員長）の挨拶で開会した。また、その後の司会進行も谷幹事が担当した。

幹事会を代表して挨拶した加藤代表幹事（ジェイアール東海パッセンジャーズ労組執行委員長）は、「JRグループ単組の賃金水準は未だに『あるべき水準』に達しておらず、『同一価値労働同一賃金』の原則が守られていない」とし、格差是正の必要性を強調した。その上で今春闘を「JRグループ労働者にふさわしい賃金体系の実現」に重点を置いて闘う」と訴えた。

JR連合を代表して挨拶した角田会長は、「08春闘が本格化となった。グループ会社も人材確保に苦労している。この会社に入って良かったという労働条件を創らないといけない」とし、「グループ労働者にふさわしい賃金を獲得していくため、臆せず、正々堂々と要求していこう」と力強いメッセージを送った。そして、契約社員・パートなどの非正規労働者についても、公平・公正な社会を上げるため、そして何より、安全を第一としてJRグループが発展してゆくためにも、契約社員・パートの賃金引き上げは不可欠だと訴えた。

その後、増田幹事（ジェイアール西日本メンテック労組執行委員長）から、定期昇給の確保、定昇込み7,000円中心の賃上げ要求、パート・契約社員の賃金3%引き上げ、不払い残業の撲滅、労働時間管理の徹底、割増賃金の引き上げ改正パート労働法の点検活動2/29の一斉要求、を柱とするグループ労組08春闘方針について提起された。

次に構成単組から、新幹線メンテナンス労組、JR西日本フードサービスネット労組、JR西日本マルニックス労組、東海キヨスク労組、四国キヨスク労組、ジェイアール東海ツアーズ労組、ホテルグランヴィア京都労組、JR九州バス労組の8単組が代表して演壇に立ち、08春闘勝利へ向けた力のこもった決意表明を行った。

また、契約・パート社員からの実態報告も受けた。関西新幹線サービック労組、ジェイアール西日本メンテック労組の代表から、それぞれ契約社員として働き、何年経ってもほとんど昇給しない賃金実態、社員との格差問題など、現場の生の報告がなされ、非正規労働者の賃金引き上げにJR連合として取り組む意義を、集会参加者全員で確認しあった。

最後に一里塚幹事（ジェイアール九州メンテナンス労組執行委員長）により、JR連合の明るい未来を皆で作出そう、との気合いを込めた閉会挨拶を受け、加藤代表幹事の団結ガンバローで、熱気のこもった集会は大盛会の内に終了した。